



萬家人名錄

四
五

5
848
5





蕉翁未生以前。以俳歌屬
 清。就。避。三。舍。於。詩。典。國
 款。若。久。矣。然。為。其。詩。國。款
 也。昨。過。而。情。鏤。情。鏤。而。辭
 暢。至。其。為。物。也。性。靈。所。注
 無。有。二。途。焉。凡。摸。象。鑄。情。



巧不巧。腐不腐者。乃可與
語。仙而已矣。蕉翁自洗滌
天下之醜。而後競美於詩
公國歎。可謂不朽之盛事。
日出國無處弗稱德。噫
偉哉。方片言仙者。無隨

波逐浪之辭。不泥古。不偏
今。采沙中金。煮蚌中珠。
一面正風。優遊自在。換却
凡骨者。不為不夥焉。雖然
東奧西筑。若閩石不識。其
為那般之人者。亦皆然矣。

這編一出國。即披桑六十
 身州之仙家。姓名居處如
 指諸掌。可謂長來雙雅之
 老。安心。至矣。善矣。

浪華東生先生瑞馬識



長等山下
 号敲月居

千影

長
 等
 山
 下

号
 敲
 月
 居

千
 影

長
 等
 山
 下

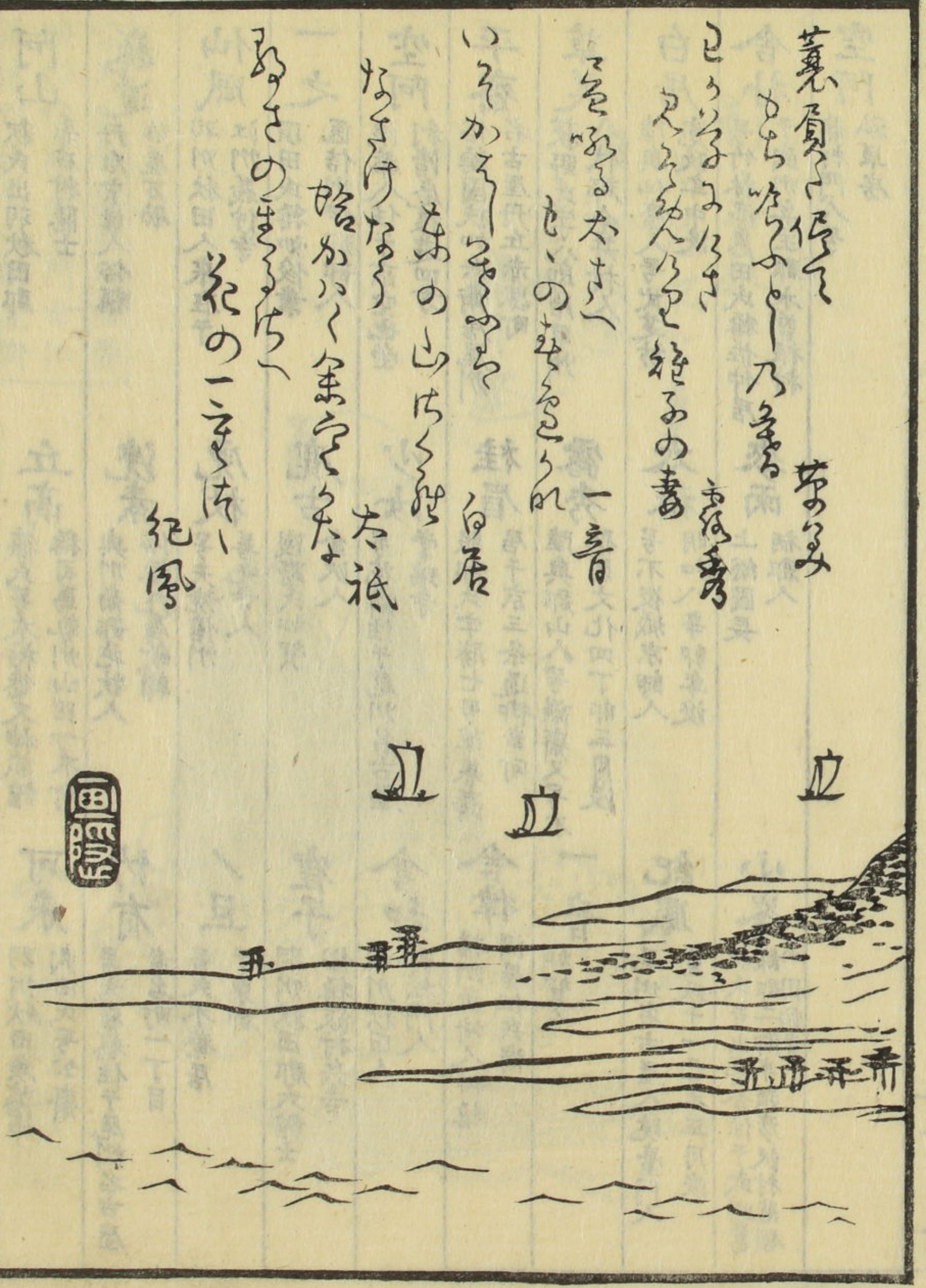
号
 敲
 月
 居





空何
 あらまほりま
 むのまほこ
 ゆ〜れ
 身をつむさゆ
 こ家ら持たゆ
 冬乃月
 松ら〜まをらこ
 まる
 松ら〜まをらこ
 まる
 海ら〜や雪に
 おもゆる山の家
 大換茶の採や
 雪のふらす

五ノ二



蕨負〜伝へ
 ちらちら〜乃きる
 日ら子よんま
 又ら〜んらと結ふの書
 こをぬるたす
 も、のまをらこ
 いそか〜まをら
 女あらしら〜ゆ
 ちら〜けたす
 船か〜く余ら〜たす
 むら〜のまをらこ
 花の〜まをらこ
 紀風

画印

阿山 秋氏出羽秋田郡赤石村隱士

丘高 篠氏号木枯菴又神風館稱司馬勢州山田一木町

可来 羽州秋田侯藩中武田氏号公齋

巍道 丹后官津人俗稱綿屋万助

浣素 奥州南部花牧人俗稱丸屋新輔

竹有 号大雀菴住于尾州名古屋兼名町一丁目

仙風 羽州秋田人來在于江州義仲寺

虎杖 号天燒信州善光寺人

ノ旦 号夫木菴居于東都

一之 頂田氏稱如俊業医信州伊那郡人

鹿古 淺野氏如賀金沢人

雀子 羽州秋田郡大館士俗稱飯村兵吉

空阿 浪華人住于京空也坐利清庵後遊四方

少汝 号花癡住于尾州名古屋常瑞寺

倉和 羽州秋田人野松門人

平齋 俗稱國技加兵衛居尾州名古屋丹丘赤塚町

桂眉 服部氏字勝七号薄暮齋居于京三条通御幸町

舍律 橘州魚崎人俗稱酒屋伍兵衛

草美 秋野氏字八郎治甲州八代郡今井村人

露秀 陸奥郡山人号譙齋又号不孤園文化四丁卯三月没

一音 加賀人

白居 陸奥仙臺人号文芝坊寛政年中没

太祇 号不夜城京師人明和八年卯年没

紀鳳 尾州名古屋人曉臺門人寛政十一己未正月没

舍朴 号竹林亭恩田氏稱佐仲居于武州寄王郡木曾根村

麥雨 上総國長柄郡人

小峯 秋氏号出塵舍住于武州葛飾郡二郷半領彦沢村悲願山四郎寺

空阿 燕村門人号瓢單房

日喜此

日和の字

向陽樓 嘯月尾



霞亭寫

常見氏号免齋又向陽樓俗稱藤左工門世住攝津州兵庫小物屋街

安達氏号夜半亭又蓬
 中螺舍俗称吉右工門
 家于浪華備後町四丁
 目三世夜半亭

吾も白う
 东よあはて
 伊勢乃海

文頂



工藤氏号是膠齋俗稱
 庄左工門羽州秋田侯
 藩中

冬三月

又了也

ちいさ

けし
 けし

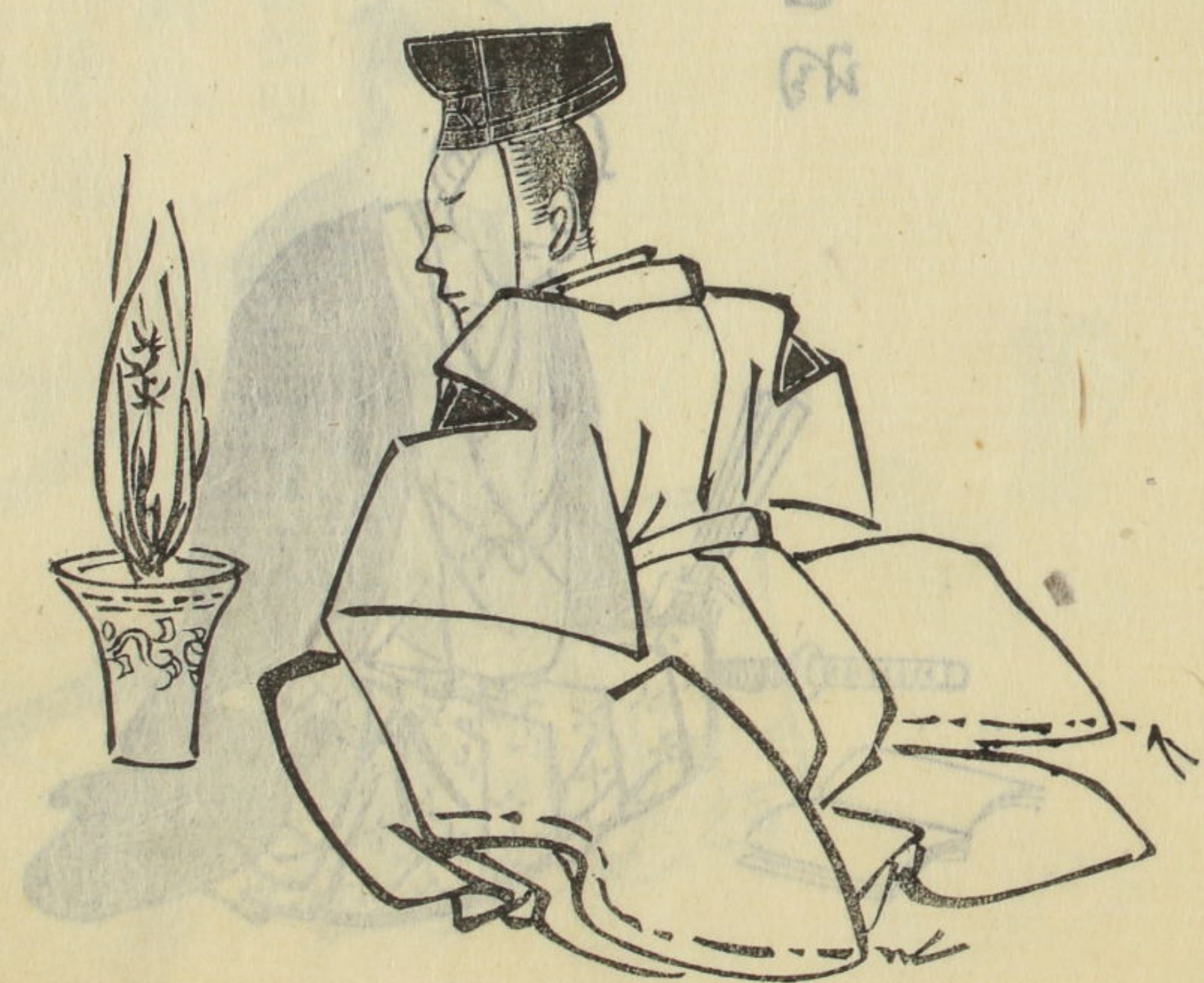
松



姓中村名守富号一道
又竹窓通稱須賀美雲
州大社祠官

千計...
蘇高木...
...

そ川秋也
油月...
そ...
千一



松橋氏号三峯館俗稱
宇助家于陸奥南部八
戸南部侯家臣

猪子乃...
もけ...
ま...
寛永



姓竹田号此君亭俗稱
武助浪華高麗橋三丁
目住人

十月廿

ぬきしる
松子
三百乃新
桃弓



通稱高木佐太郎世住
于信州伊那郡御子柴
邨

水子
たき
雀
雀羽



植氏号嵩臺俗稱兵太
郎住于出羽州最上川
頭谷池

あすはるまは
しのを
さくらさ
咲に
くら

龜年



嘉輔姓安井字汝亨号
雀雅亭又映山又称竹
叟山人家在于浪華天
神橋北衙製臘脂

壬申年春
花の白
輔

蜀郭華進徑過橋
脚屋閣陶然音響
景高與夕陽佳
雀雅安映山圖



自画
印

袖扇子 山曉

うきん

夕日乃

栞見分

姓池上号權蔓館通称
橋屋平助東都中橋上
植町人



郊外晚歸



寒霄偶過水西陂樹
上回風帶雪吹記得
春未澗月夜村人為
我折花枝

角鹿秀



つみかよ

ふりよ

庭の苔

枕窠

姓角鹿名秀字子実又
桃窠号玄都又夢坡子
又青李菴通称暗蔵住
于京一条通千本東江
入街



姓田中号寛丸齋通称
猪介京都神田鍋町人



沢氏名守安号觴凉亭
俗稱五兵衛專農業世
住于安藝國能美島小
古江村



通稱園部理馬太浪蒼
 今稿二丁目住人身重
 百七十斤

るき乃
 ちんま
 ちんま
 ちんま
 ちんま
 ちんま



橋のきり
 あんま
 ゆく
 小ころか
 鈴紅亭
 鶴江

姓長満名道貫称権右
 工門備後國世良郡吉
 原邑之人世々農家也
 前山之頂丈余之大石
 並立

姓栢木 號拾果亭 通称
 畚屋源三郎 住于播州
 赤石東本街


うさばらね
 枕うらなふれ
 なうほの
 つくまら
 三省

映心




逸見氏東播赤浦人

おまの
 おまの
 おまの
 梅さつこ
 4度堂

映心




姓藤江號如齋通稱篠
屋喜右工門住于平安
系屋町

余は西平堂の子を養ひて
る全形とくして子ありて
受やむ心実多きを存し
負ひ月二も工味い吹ハ
カ一足ハ十五字をありハ
とんくしうとたをこれ
あしおをいきおえ
おをいれそとてお
なうおいし入てをを
やなよ乃

おえういや狂人の

おえういやと

わけもたらしめ

むらうやく
まふ人



まふつとふ乃

まふつとふ乃

なま

友甫

友甫



津田氏俗稱吉左工門
住于越前國丸岡

河角氏号七杉堂俗稱
土佐屋吉兵衛家子浪
華座

五好女
十足多足
名は人交
来

早瀬

友人
賀子健謹寫



室氏俗稱市右工門住
于越后州高田成翻社

左考

又海
又て来て
柳
うらま



荒木氏俗称六兵衛住
于丹后州宮津

ふたのり

そのり

な

な

万葉



岡氏稱弥三次住于但
馬州芝谷

しほり

い

な

のり

あ



鶴見氏俗稱源次郎世
住于三河國碧海郡小
坂江邨

なみのあか
せきま
ふらふら
新の松
東投



新氏尾州名古屋人來
在于浪華難波村證點
菴

ゆづり
みづあ
あいの
なご
由野



岡崎氏俗稱清七上毛
大原人

波風書
おろろ
つる
七
三井乃
結
朴哉



阿部氏俗稱慶八郎上
毛大原人

山崎の
くはわ
いりま
まろろろ
茅磨



長門州赤馬関住人俗
稱油屋仁左工門

ゆめをもち

あまのこ

さく

爪のほ

かき



鳥飼氏俗称五郎右衛門
播州赤浦水谷住

牛飼ふて一里

来にふお喜

能子

若川

赤城

い美江



岡野氏俗称吉郎兵衛
泉州左海人



尊白

子子ハ

清々々々々

なや

目賀多氏俗称兵左門
号探瓢亭住于奥州津
軽弘前



月とて

つとく

はらりし

のり

春ておる

目賀多氏



姓源部坂氏号東明堂
周防國白松岐波村人

我神一

くまハハ

カ

あのみ

ま



洛東摩訶文字山下隱
民堀氏枯魚同盟之一
人

仙芝

あのみ

ま



三枝氏俗称十郎平世
住于播州加西酒見北
茶本町



清奇

しるし

とらぬも

かゝ

かゝ

万栢通称植屋平次郎
卒安栢馬場三条下町



万栢

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

中村師本浪速人姓藤氏名玄字子機号南山領
 亦号蟻磨庵學涉獵倭漢蘭客遊無所不至遂
 家于里ノ浦業匠焉頃焦長齊君需寄一章予
 詰附數字他日 使人莫不審其名之憾門人某誌

法時法筆子のもあまれ古多文是
 びるし何あし人何し書き記
 又の支茶るるの世様を居
 や記をまき志の何のしと別
 名重勝字文龍

其意其以仁也
 眼の付くりんと

四十一の如也

其碩



五ノ如成井氏々々々の村氏を
 稱して其をたて業といへり
 又の如に櫻浦とあるとす
 家名を減せては治世乃
 新ありとおもふ
 名重勝字文龍

おのりに
 三尺の如剣
 およはせ

如柳



予み世の業をなすを
 運ばしゆもいふこと
 一りなり 命運のゆくを
 知らずて日や月しあは
 風はもぬむも止るを
 さだむたりの世にあり
 としよもをこかす 姓を
 妻ふ氏名をえ旨ちぬの
 浦に伝ふ

生々巻
 巻逸

きの梅

人のまぬ

日此ふらふ



白泉名
 泉男
 女石

沼ぬまらや

えらう流か

ほらうら

泉男
 女石

姓平野村氏名草恭字
 見龍号浅井軒泉南塚
 人



田中氏号水蘆亭俗林
 應介住于浪華江戸堀
 第五街



花唱

乃
 乃
 乃

平田氏肥前長崎人



祥永

中六寺小住寺住持

ふたつ

根ハ

わ

つ

海々尾

小枝氏名壽泉住于浪
巷江戸堀第5街



蘇州秋田住持壽泉
蘇州六寺志願寺住持

〜

ま

〜

〜

か

〜

五

秋氏住羽州秋田城下
曹洞派玄心寺



筒見氏俗称糸屋平兵衛
因州鳥取人

大川秋の
おを試す
かれ
南



荒木氏号忘帰亭俗称
藤市郎因州鳥取侯藩
中

おはふよ
おはふよ
おはふよ
おはふよ
おはふよ
おはふよ



まきしの子

まきしの子

まきしの子

松の風

浅指



俗称讚岐屋又右工門
因州若櫻人

いまそこの風をゆきかき
申しまわりのまきのうらみ

吉良

新造茶室扁曰小
壺天因賦一律

小屋無塵雜聊言謝
世縁挿花思野塢滄
茗擬丹泉時抱方爐
臥或憑曲柱眠幽居
真有趣是我小壺天



吉叟姓行本名克茂一名宗隆字子虔号漆園
又称雨蝸狂叟或老蠹主人住浪華北久寶寺
第二街平生所嗜和歌俳諧暇則會茶友

但馬州二方郡千原村
和泉屋久良之助



玉英
福

和泉屋

久良之助

玉英

福

丹州龜山侯藩中姓輕森
号半月亭又半仙庵又水
枕俗称代右衛門住于丹
州龜山

輕森



丹州

輕森

半月亭

半仙庵

水枕

五ノ二十八

播州三木住人俗称道
具屋善七



久白也
川上
出は
子多
文々

但馬出石侯藩中俗稱
横山弥三左門



ふん
松
川
落
子
高

稻垣氏俗稱島屋勘四郎
越中州富山住人

位
侍
侍
侍

神
神

大
大

大
大

梅
高



入
入
入

身
身

身
身

身
身

恒
丸



姓今泉名一字太寧号葛齋奥州
三春人移住干下總國左原葛齋
菴文化七庚午九月十四日卒亨
年六十法号天寧得一居士

篠瀬氏号竹梁越中
山人采在京師蒼虬
門人

子
た
あ
た
ま



熊耳氏奥州三春
人移居于下總左
原葛齋菴恒丸室

人
か
ま

素月尾



喜乃女
 史をん
 にかひ
 も

喜



原口氏俗称十太夫淡路大榎並人

十太夫
 淡路大榎並人

認めを
 たら

たのぬ
 かけ

寒屋



號冥々妙々庵能登間
 脇人文化七年庚午十
 月廿四日卒

御官服職姓長谷川号
光風舍俗称久左衛門
住于京室町通中長者
町

和の山或戸八百平のほろ

は場くもそ持

狂象栗本彦元

里祥

まいつまよふりきり

虚言正

八百抄んりいり

京油小路三條辺中路氏
名直方俗称嘉兵衛

紫のまの
一丈

ゆみとこま
吹きまぬ

蓮のまや

古柳

ちりま

風り

子静



洛南三峯麓浄安寺澄譽上人

嘯月

秀里

丹羽川關八木喜矢衛筆
興今二條城東石山氏偶
河内三日市僧義天在京

沙之里
何くも
我ひ
おのけや
橘ふ
まくめ
子

嘯月



美馬氏名昭義通稱
大文字屋善助平安
一條小川東街住人

沙路

沙路
かき
さか



攝津國佐々木祐見黨洛南稻荷住石村
氏子名秀俊俗稱平兵衛京二條通小川
西皆山氏千餘年偶

人乃 秀祇

すまわりの
峯家の



於千州華古賣法四丁
齋谷藤也云墨五共論
致安藤各安貞号統

あまに

松の

白小家

か

孤舟



姓加藤雲刃廣瀬侯
藩中

秦氏稱芳助淡路下八
太人



鳥秋

松子
てま

松子
てま

目
姓安藤名安貞号緑々
齋俗稱近江屋武兵衛
住于浪華立賣堀四丁

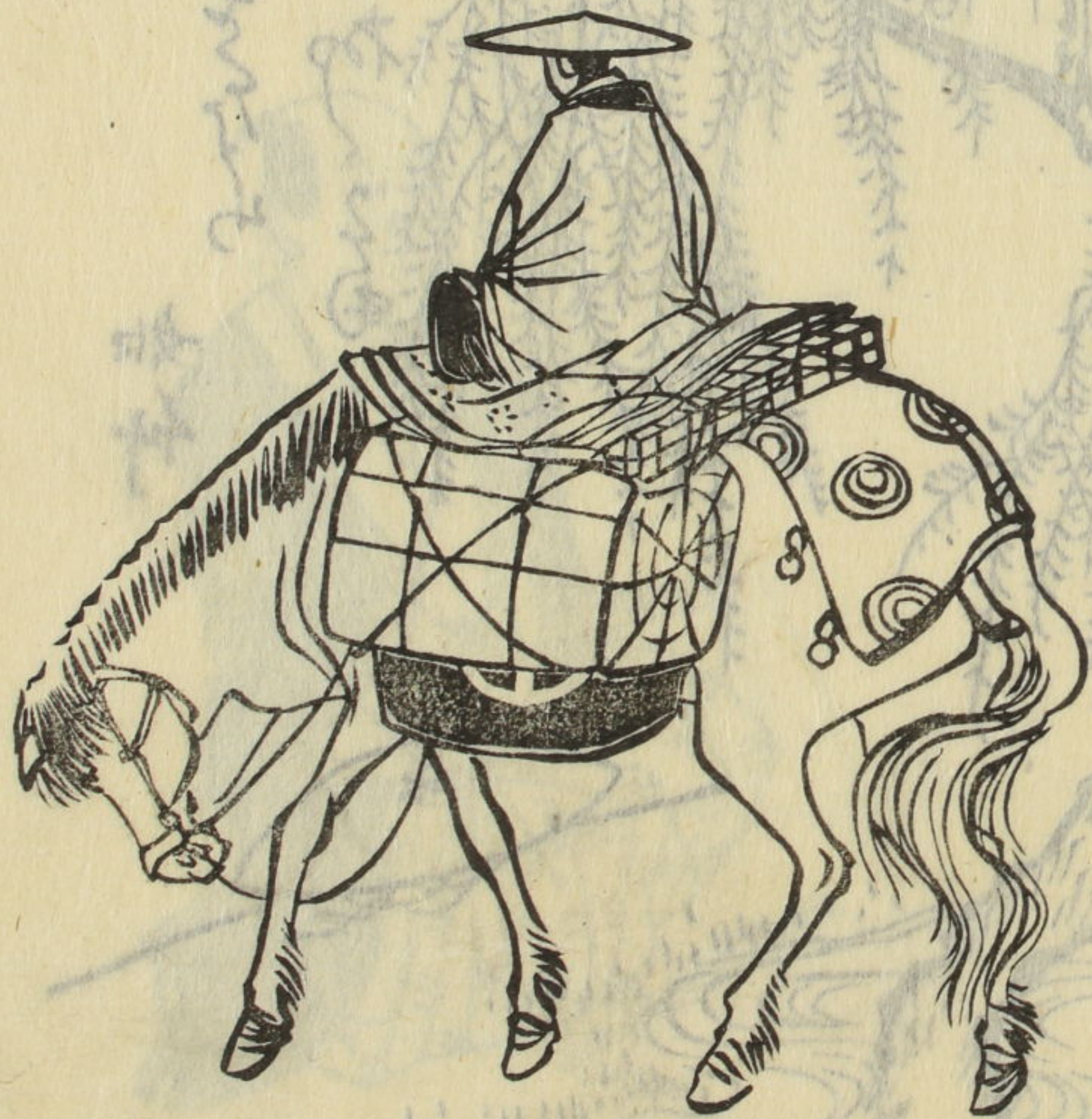
よのやま
もれとなる
日あ
士竹



子信寫

姓村上名章博俗称三
 兵衛石見邑智郡窟村
 産后移住于備後三次
 郡立村

日光よ浴て、
 ぼくろろすすろ
 まきんも
 梅の花
 双山窟



舟越氏称典左工門淡
 路島井人

いほのあは
 そけいなる
 入ゆもあそ
 花櫓



姓小亀名孝業京都之人

井筒氏貞昌曾孫
登林上之景新科林三

さくしをもちたる

かたむし柳のそと

如竹



菊園

ほの上

うん

志かえの

石の



淡路湊村人俗称綿屋
庄兵衛

遠江州濱松駅住人俗
稀鈴木傳十郎



横切

いそひ

ゆ〜

きり

〜

〜

末弘氏号安間窟俗称
伊作菅学篆刀浪華蝸
堂石鹿道人世家伊豫
宇和島愛宕町上右側



石見画
回

石見
株

〜

〜

〜

釈氏号孤月房住持干
豊後州別府西法寺

河野の
うはらり
うはらりぬ
波はぬ

赫々



林十郎来曾於干豊南
法寺公献士登并九幹

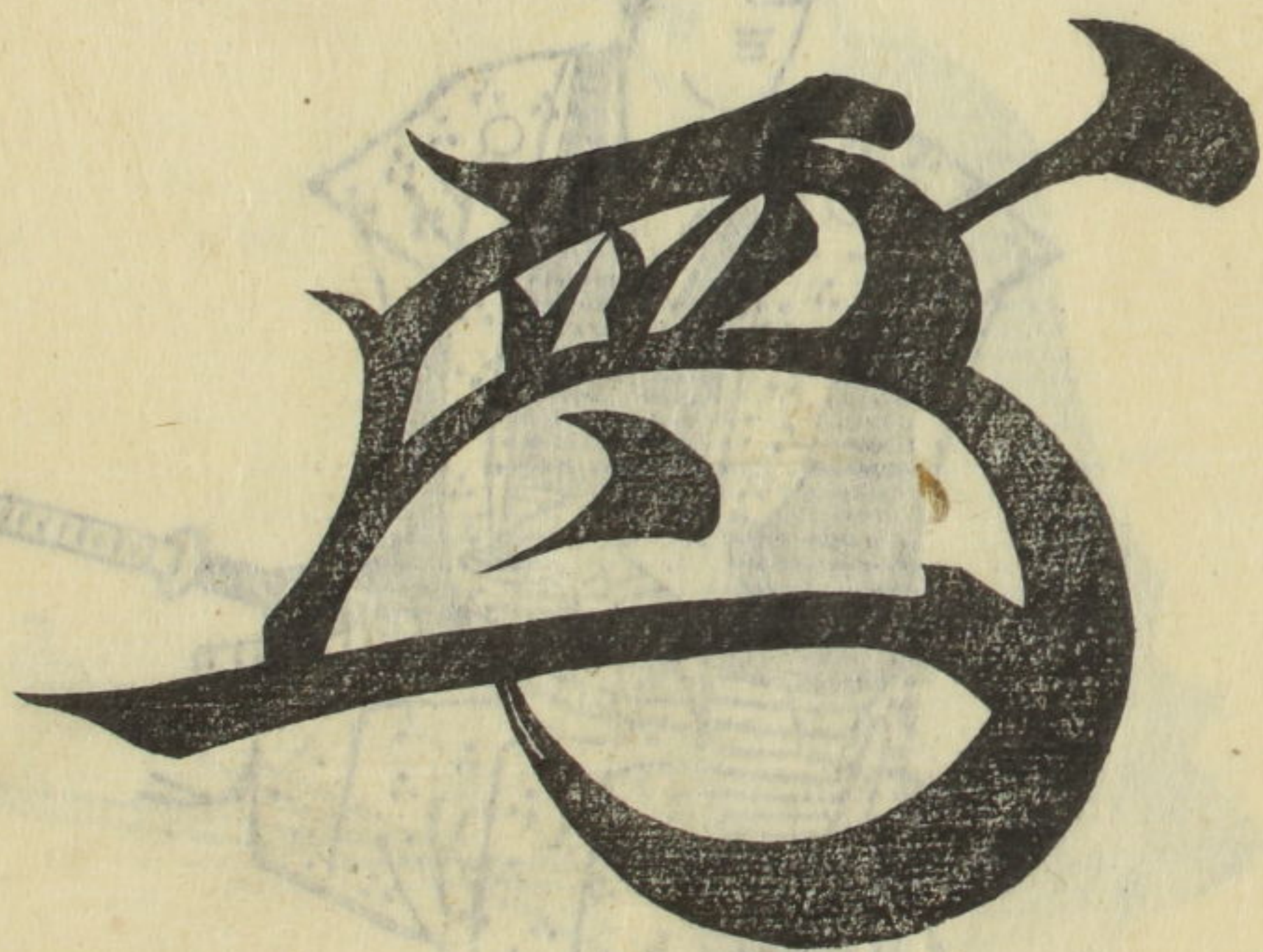
船
くまに
志

福毛

十日
たき

巻十

横西成人姓浅田名公
彝字叔倫号葆光寺俳
諧号蓼々下



小濱氏号嶋室俗称吉
右正門伊勢州一志郡
川北村御民

乃乃山
乃乃山
乃乃山
乃乃山
乃乃山
乃乃山



紀伊公地士笠井氏俗
称七郎兵衛住于势南
一志郡新屋之庄

乃乃山
乃乃山
乃乃山
乃乃山
乃乃山
乃乃山



今井氏伊勢香良神社
祠官藤原朝臣

子乃戸尔
雲も
ちんちん
花
花
花



藤堂侯地士田上氏名
光利号翠竹菴俗称八
太夫住于势州一志郡
八太馱

浪松
志
か
か
霍翁



洞津彦地士與田氏字
 總右工門号豊樂園住
 于勢州櫛田川湄桃林
 裏



雪基
 字 記 不 也
 月 名
 又 之 利
 之 部 之

紀藩臣前野氏號紅漆
 園俗稱六兵衛居于勢
 州一志郡小川里



杜子
 水子
 ち 之 之 之
 大 之 之
 右 存
 か 之 之

棋夫妻

掃
まきねん
相ねん
ちる
文か那



紀伊公地士前野氏字
六右衛門号芳齋住干
伊勢國一志郡小川里

侍心の
謀夫
まきねん
ちる
文か那



勢陽寧一館地脈接松
 城嬉野兼忘井月花好
 適情紀伊公藩臣酒井
 氏字縫右工門住于伊
 勢国一志郡小川里

魯奇

ちくはきあ

むーんち

ま

しんれ



井左

ま

あ

ちの

ま



井上氏俗稱廣島屋伊
 兵衛家于浪華南堀江
 二丁目

號露滴齋平安人在于
 甲府堅近習町俗稱近
 江屋太兵衛

せなの
 子ら
 笛吹
 役ちあ
 心仲
 楽
 玉枝



五味氏号竹樓俗稱六
 郎左工門住于遠州今
 切

せなの
 子ら
 ちあ
 ぬきこは
 あま
 かふ
 一葉
 古



榎原氏号洞裏園俗稱
 新左衛門世住于遠州
 濱名摩訶耶里

智くは自小
 一猪
 老と成行かす

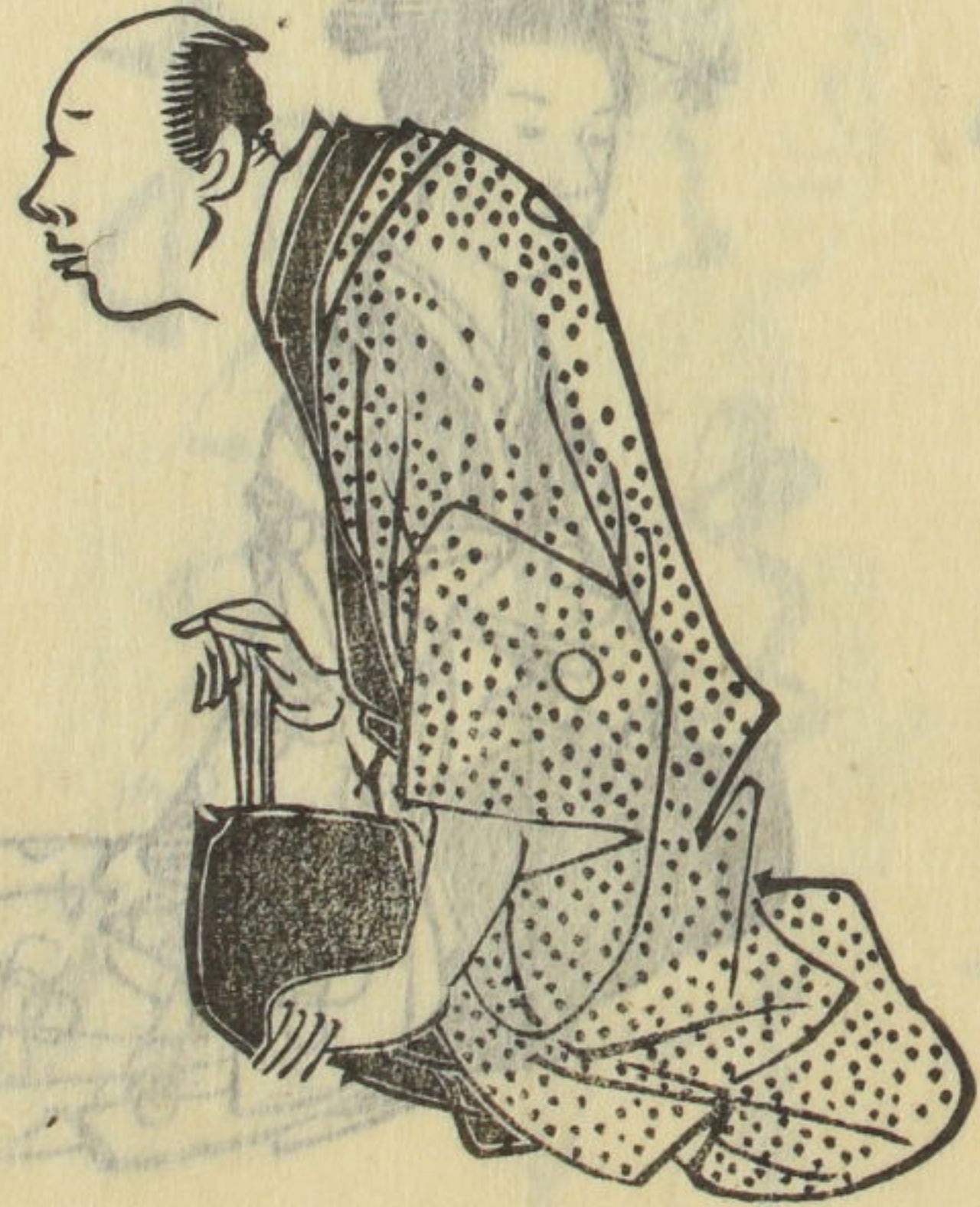


釈氏曹洞派稱大教和
 尚甲州府中瑞岩禪院
 現住

井くは
 いは
 又二乃
 山



平松氏号白松園俗稱
 弥左卫門世家干三河
 國府



芝の葉
 さるうけのなる
 芝の門

謝世國山卦山谷計

高柳氏号雀芝園俗稱
 周平居于遠江國新所
 里

月待わ

小松子

おきかせ

耕漁



高柳氏号雀芝園俗稱
 周平居于遠江國新所
 里

讃州高松侯藩中向井
淑慎字士臧一字栗洞
号収栗園通稱又市

備前州岡山住小谷伯
駒少女小谷氏

おひろひろの姫さま
拂うるたれを
な〜いさやう
さばるるに
あのみ
蓮子



乃乞能乃予
夕禮夕波付
空得おの形

栗洞
同我
栗園

子地栗園屋津又市
瑞軒守士一平衆
精世高師或藝中尚米

おんたけあき

いも
いぬ

えんかく
七国お

えん流



おんたけあき
いも
いぬ

姓喜田川名庸脩浪蒼
人鵜雪男号交雲齋

えん

老たらし

けり

あし

えの春



奥州信夫郡土湯邑人
俗稱扇屋理右工門

かみかみ

かみかみ

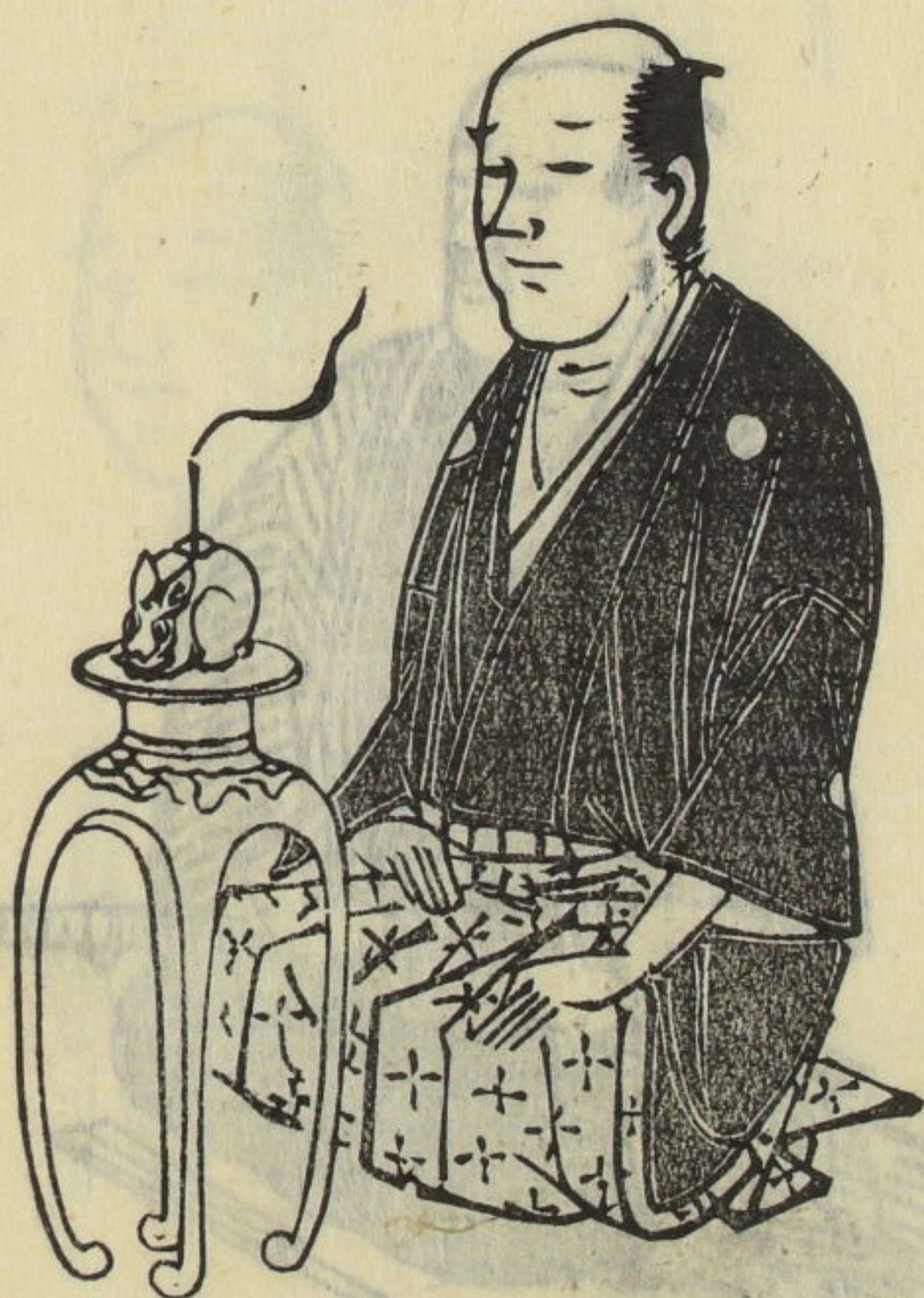
かみかみ

かみかみ

かみかみ

比手雄

小山氏俗称宗五郎号
蘭室又号松栄堂又号
蘭佳齋又号一山亭住
于浪華北久宝寺町二
丁目製漢法白線香以
為業嘗好俳諧常居遊
于天牛隱士之門



正雄

かみかみ
かみかみ

かみかみ



淺野氏名為英俗称孫
七住于浪華舟越街

号交風舎俗称豊前屋
 彦右工門日向國白杵
 郡富高新町人姓青木

まろ柳子
 ゆあわ
 かろふ
 月あな

甚留



御手洗氏名壽信法名
 教信俗稱唯右工門日
 向州臼杵郡平岩村御
 手洗虎吉父可龍軒

芦舟

まろ柳子
 ゆあわ
 かろふ
 月あな



梅仁親氏号密蔵亭住
 于武州寄玉郡八条領
 木曾根村大悲山普門
 寺
 湖竹俗稱相摸屋清元
 工門世住于武州葛飾
 郡二郷半領番匠免村

田舎
 子察



相摸子
 梅仁

あつて
 合歌
 の心

湖中



あつて
 和書二の巻の
 原指佛古書と
 次第加はきと
 新書為也

住 姓土肥名壽喬字甚吉
号修善亭壹岐國勝木



三千姓
たろ

俗称近江屋喜兵衛居
于浪華生玉社鳥居前

あまの
あまの
あまの
あまの



河野氏号無為亭俗稱
新五郎住于常陸州行
方郡帆津倉村



おちんちん
あまのこ
おま
かま

河野氏号洞海舎俗稱
新太郎住于常陸行方
郡帆津倉村



おちんちん
あまのこ
おま
かま
新太郎

林氏稱飛驒家于下總
香取郡大角邑

了るに
まごめ
雲ろろ
あろし
つおろ
仙玉

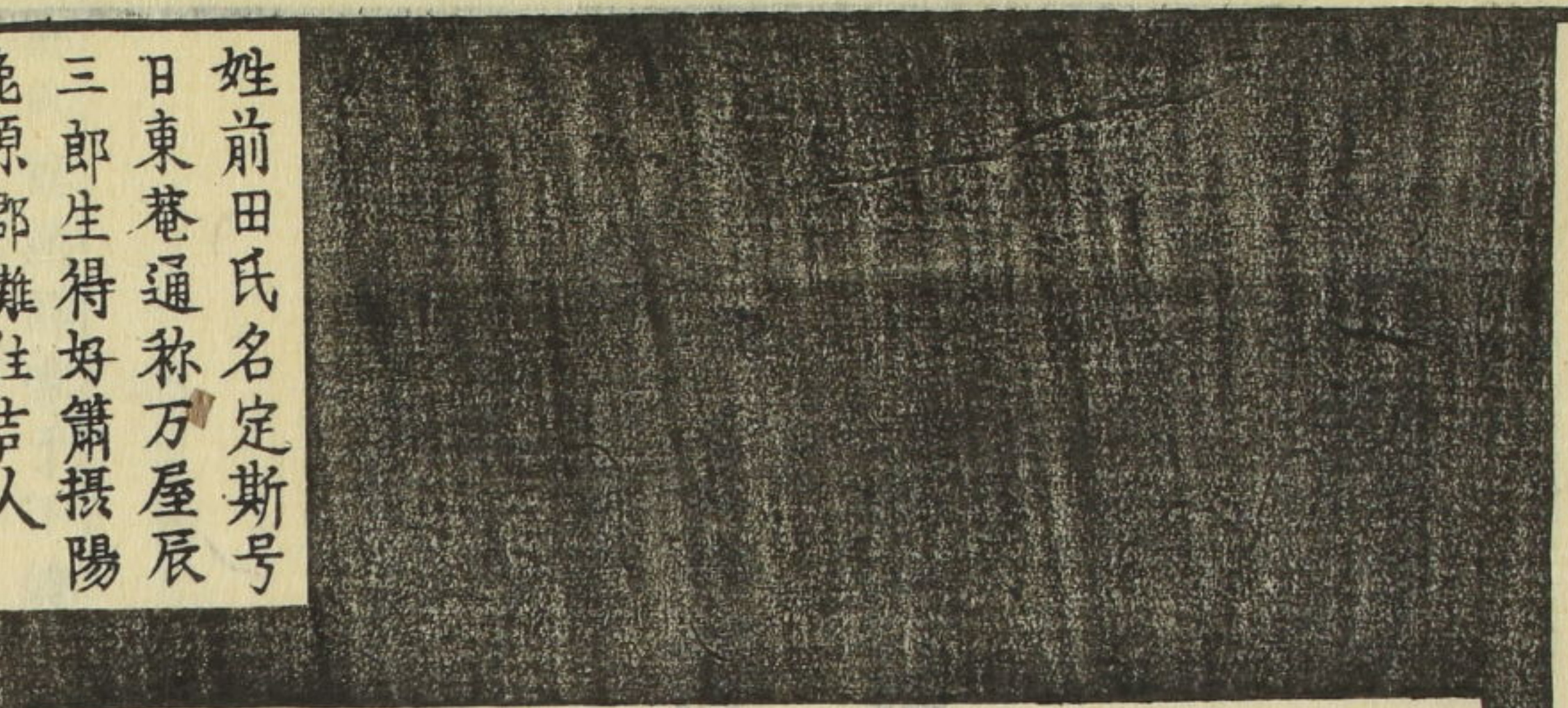


西村氏名慎敬字三不
惑号古松館俗称喜重
郎撰系系海人

い寺乃
けり
このを
紫朗



姓前田氏名定斯号
 日東菴通称万屋辰
 三郎生得好箫撮陽
 兔原郡灘住吉人



名月と
 不毛丹代
 子水丁控
 南浦

三顧

乙々々々

々々々々

々々々々

二月堂

叙氏号巢臼舎住于下
 德州香取郡大角村光
 明寺



下徳香取郡萬歳焚彦
 孔澤氏俗稱焚兵衛号
 松園

本日の金如
 なるまは也
 松園



さき

村井氏号兼洲俗稱孫
 兵衛陸奥八之戸人

あまのさき
 松園
 喜おき



姓西村号櫻花亭俗稱
 俵屋作兵衛京都御幸
 町通住人



渡辺氏字貫卿号東嶽
 俗稱治右工門奥州二
 本松侯藩士嗜好數學
 通物理為東都最上流
 會田自在先生之先鋒
 事詳於算法古今通覽
 名聲遍坂東云

武隈乃
 西河
 松崎
 乃木
 乃木



木村氏名近直俗稱
五兵衛号松菊齋皇
都二條城邊人



文来

西江高嶋森人



風瓢

岸洞石

秀盛 川嶋氏号甘露亭
 皇都住
 川嶋室
 号文龍舍皇都人
 石村氏号緑鴨亭
 伏水人
 社 中
 義天 河内三日市僧

花さゆふ
 ちねん
 もと
 あれ
 秀興

秀俊
 名をた
 義天
 白
 川
 名

秀盛
 名
 山
 秀子

山の名の虎も
 秀子

備後尾道住人通称亀
山松太郎辨如此江山
亭

あをかき
はる／＼本写の
かきまゝに

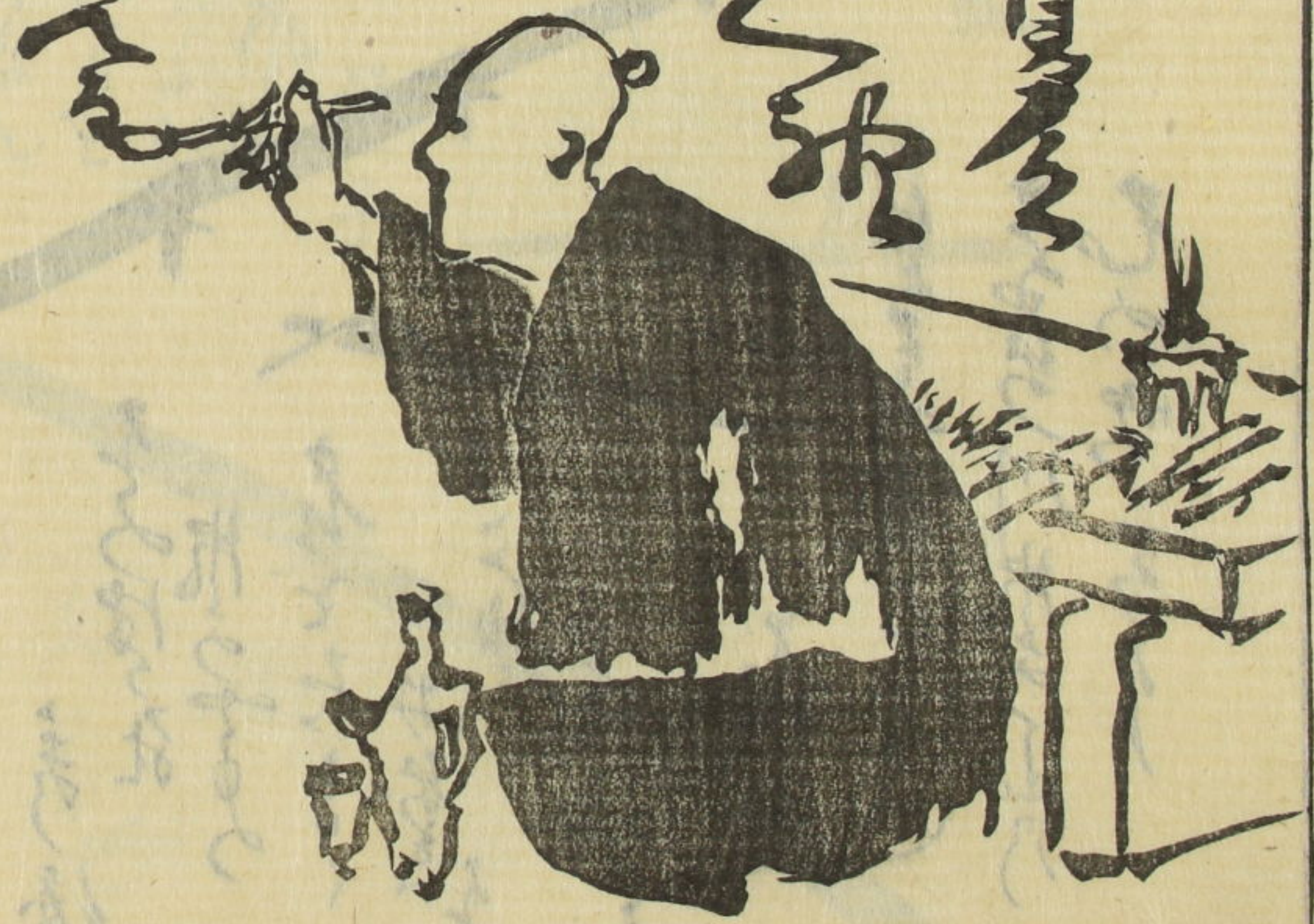
いかに



京から
亀

京から
亀
目

美し
く
なり
し
地



姓源芝氏名國忠
 称廣主播磨國廣
 嶺山社司

廣嶺山社司
 廣主

右如久尔ハ
 許
 西美公あわ
 己
 たならあま

廣主



平安三條堺西住
 角野氏竹の家と号

書隨筆

あがしは

おま

のま

儿笑



○西海對馬州人生食太門藤原唯一仕備之前州池田家



芝陸奥守從五位下
源朝臣以忠播磨國
廣嶺山社司



浪華壺中葺室播
 姬井上氏之女



お車返り
 春生
 八幡花の
 ちりま
 表ふり



毎二番と三番
 名月おぼる
 あらねね
 ふらふら

○蕉門
 ○正統
 西海對馬州人生食氏
 寓居于浪華号老仙

姓久保名一久号龍門
齋俗称太兵衛讚岐高
松人來住于浪華

竹名
如慶
さくら
こまろくま
ものぶ
可登



五ノ六十六

尾州名古屋本町十一町
目住人綿屋吉兵衛

賈天
牛抄
ゆきみの
るける
かぬ



河本屋
陶

姓森氏号白露齋播州
 姫府龍野町二丁目白
 銀屋儀平隠居



木のつらよき
 もみ 白也
 おほる月

雪堂画

姓源寺西氏名常之号
 曲江園俗稱善九郎尾
 州名古屋上宿人



以法啼々
 我竟
 いっしききき
 ほろく 第廿七

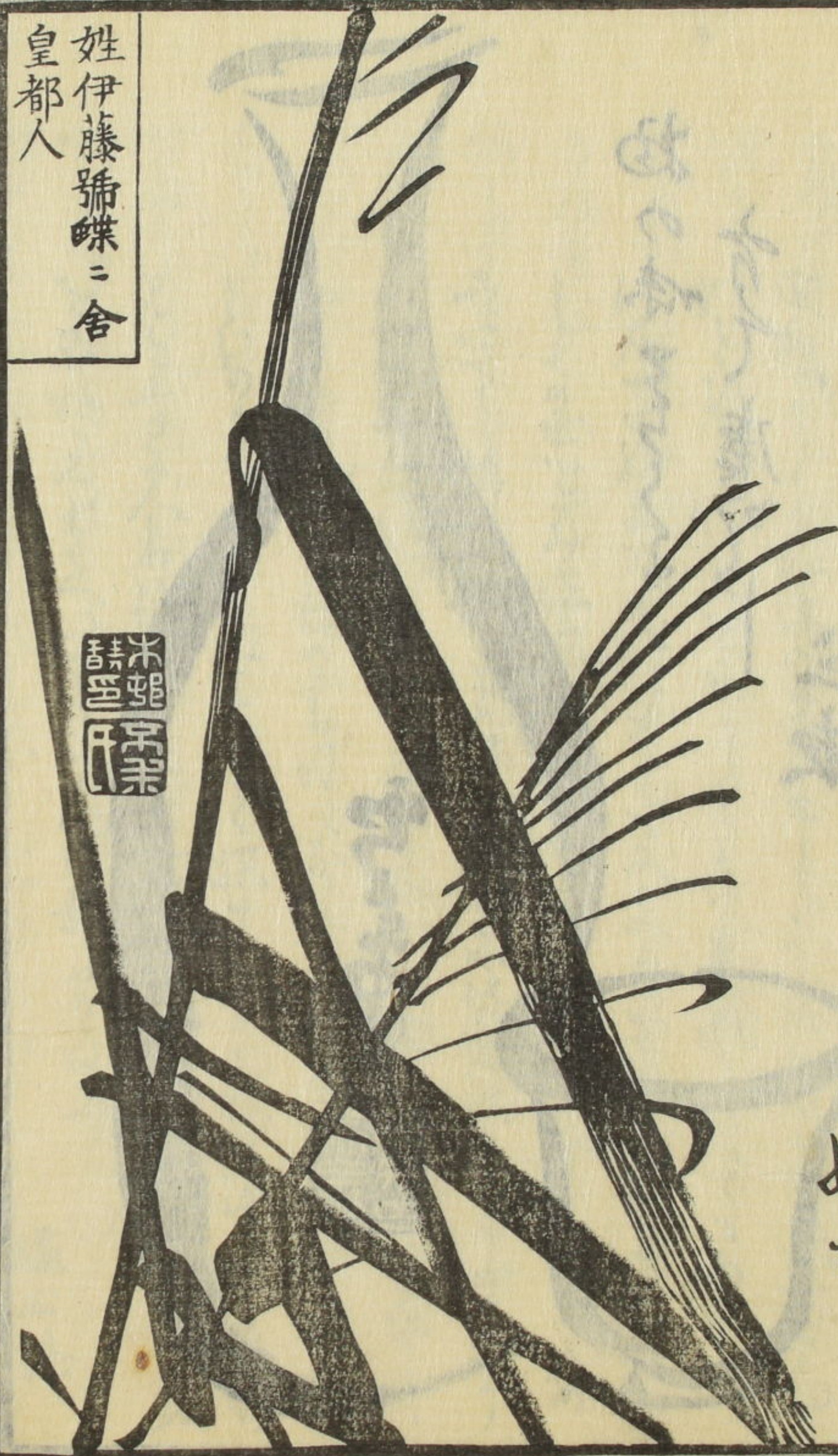
Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or account. The text is written in a fluid, connected style across approximately 18 lines. It appears to be a continuous narrative or list of events.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference mark, located at the bottom of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or account from the previous page. The text is written in a consistent style across approximately 18 lines.

秋の萩はねの如き也角行燈

好古



姓伊藤彌蝶二舎
皇都人

五又六上

いあを

折花

さゆの

白らん

通



六
南

姓谷氏蕙圃齋鷺雪
殊屋忠兵衛将安治郎
排号斗并住東武神田
横大工街

雪男ハ菜

斗并

崇山子賛

此より甲申のころより誰家の思ふ家もふく合も
 かりとせりしおちるもいふもととあねく裏破
 まるね其れこの中もいふ鬼のこころもい
 うし引つらうらまをせおしと鑄うらぬ
 らす射の射うらとふ射の射とらうらうら
 いまもいふとあそくもいふ用の用あそく
 の用あそく眼年鼻舌もいふと鑿るも
 あそくを混沌死とん恨あそくね金人いふとあ

這人姓姓一代通播朝

伍号住佐齋文化西寅

九月二日卒享年甲

五備前岡山人

崇山子拙語を記する人

此より又誰とや

這人述

不—合也

此亦唐津

空

此亦唐津

凹凸房五雲



姓水野氏肥前唐津人



常荷畫



浪華西横堀敷津之邊
法華八太郎号東也園



心離蜂
人ふや
白毛
七以

姓壽山氏肥前唐津人
俳名退歩

相
つ
あ
り
あ
り
あ
り
あ
り
あ
り



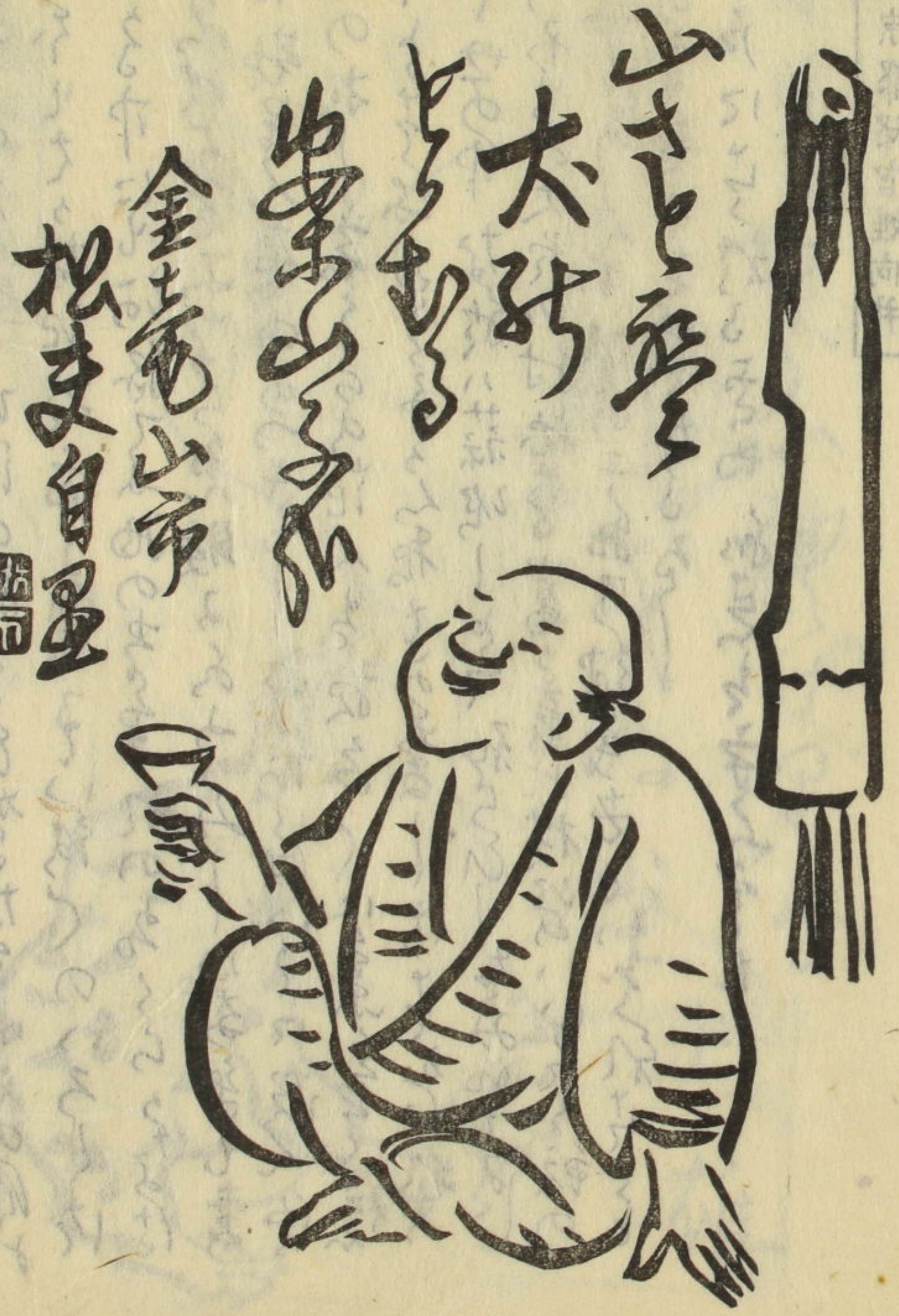
退歩

出所不明

姓山本名一致号六
 甲山人俗称八郎左
 衛門住于摄州灘住
 吉吟亭恆居嗜酒學
 空海筆蹟又好画

吉吟亭
 家之方
 吟亭

俗稱伊勢屋新兵衛住
 于江戸浅草山之宿町



松本

河豚魚

濱崎兼心堂假祝識

ついでつゝの産キと河津の佃ういひかきたるを喰ふの浦に
拙つふしたるたに新市に纏着るい紙くのいろくは
おほる中にも河豚てよ物のまをま取のあくらうたるは
ういふれよまふたたら免睡ふあうみーいあまも妻
をや欺まん唇のあつきもーあうあうはいうく没んめ
公龍のあーきうううの記人もあまーにままをうい
まーとまうはあまううんねまの妻ーしあまかに移
ゆく世の中な終ハ蒜油ーとや初らひーをみれまぬ
なつたれ大穴の村枕曹出高うまは横ばいいたる飯の
ふ好もあーんきまの于物乃使多老といをれまを
まのうまをまぬくたるるー
戸にうられたるまもあまをまうまも

高松侯京都邸官姓向井
名由豫字郡助号兼心堂

武令五干東條大圓

神皇統六卷東國討之

伊里あふ御けのり

打茂ぬ小宅

月雄



姓永見俗称伊兵衛撰
易伊丹外城産今在于
東都大圓

姓富士田字半兵衛号
鯉齋住于東都大傳馬街

思う代々大飯
急す
揃へる
直也



葛羅姓本城俗称惣九
郎皇都六条東洞院之
産今在于東都大圓

斗水庵
高の
かくる
元せ
毛
かた



姓山崎俗称喜代治号
 世界庵信乃高井野田
 人在于東都

源少右衛門
 風流の
 可免
 相
 吉

近來



伊勢おかしりの邊り夫
 野之産姓高山俗称次
 郎八今在于東都大圓

於此可稱也
 鹿好
 春來



讃州香川郡笠井
邑高橋字兵衛

了らわの紙力こ
和をそ
あけ切を
不接
能る力部

木端



姓佐藤字伊兵衛号貫
齋住于東都大傳馬街

甲子也
京の
紺屋の
大根
め



姓山崎号雪圃亭
遠州掛川飛鳥人

あけやほよ
静危
すえ
らま教
竹



石上

讃州高松築地
柴田甚右衛門

閑穉
人
り
す
ま



号梅守庵加賀金澤
寶来寺現住



浦
一慶
ひまわり
たけのこ

姓松木字勝兵衛
信州善光寺蚊田庄人



可厚
田
子
家
ひまわり

社長士竹以其道来其
道姓佐生名晃胤字恒
濟号一致亭俗稱近江
屋由兵衛住于大坂立
賣堀北側高橋西

かたはら
おきくおきく

尺よるのこ
其道



子健
[Seal]

東林下谷村
寄藤谷藤平共齋赴于
松林井遊馬園障又森

恋つとて
弟も花さけ

美の

林見三見少安
久本身ふ安西



白美
尺共速

姓新井號忍岡軒又在
宥齋俗稱平兵衛住于
東都下谷仲町

人
の
雪
の
雪
の
雪



東都
雪旦齋
印

東都
雪旦齋

八千坊三世石井氏作
州人來居于浪華吳服
橋東五竹菴門人

か
る
に
の
雪
の
雪
の
雪



雪旦齋

仇遊し乳仙

手也ハ家のからるる乳 平言
 何とありありありあり 若也
 叶未考二枝是うとつ核 大核
 隣のおをすらかひよはむ 五さ
 冷くと母のまに紗焼て 砥石
 示くよ其のいなつ戸 榎系
 じのまれ園地とをなれ 岳路
 世をほもやまかろあは 飯祥
 多分の物やと核あまはれ 聖
 あをたいたの程ひぬん 高
 弓杖よを垂の細くもは 高
 高のやーのまのまもはる 高



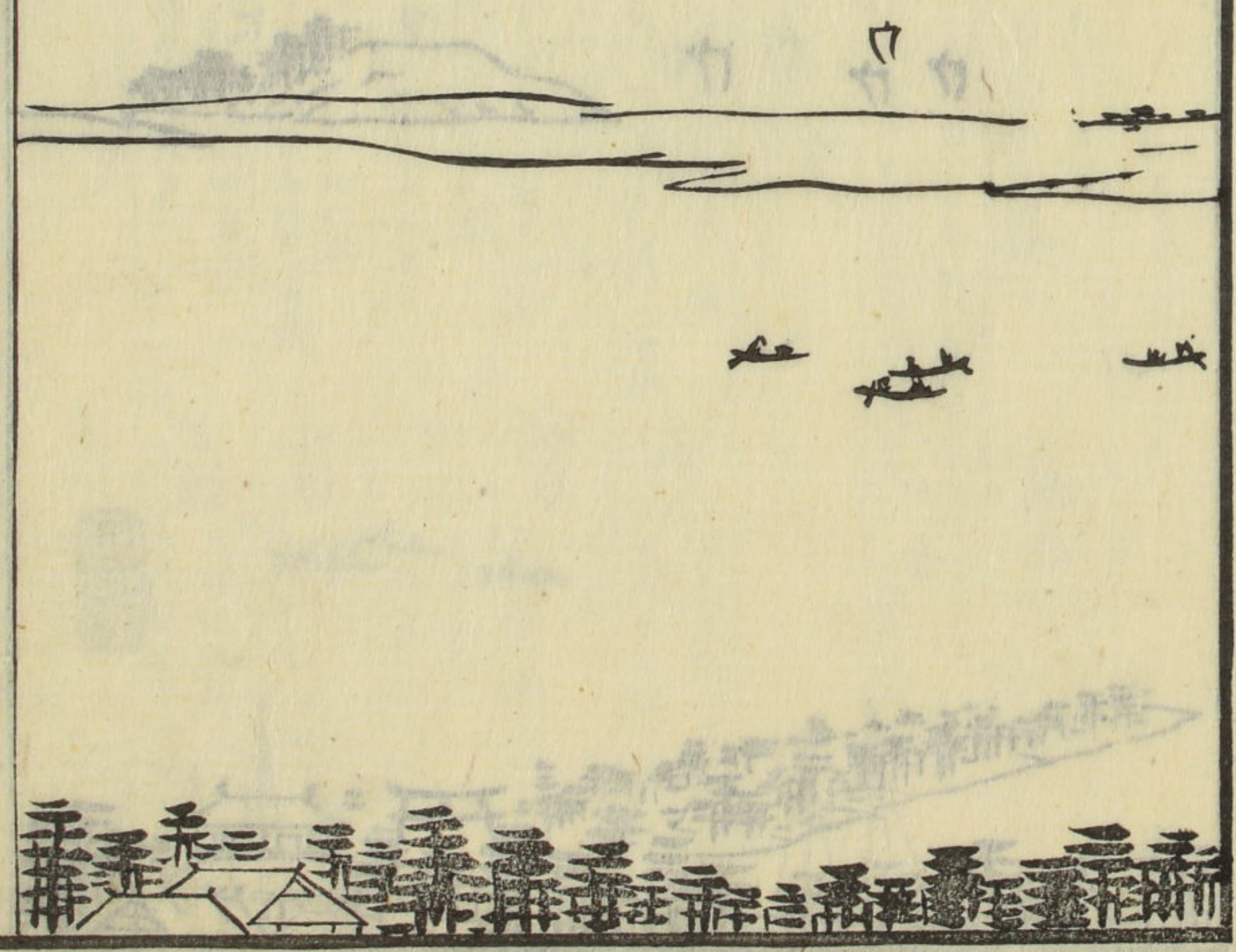
旭江道人寫于
 当院寮中



山をれひとつ屋の十と飯 素
 飯見の手ぬくこ十のる 玉
 高う戸にたれふをハ林や 祥
 わまみのもをさるん房ゆり 轆
 大舟うとらうと花ふ屋上を 高
 一万りの田分するまを 聖
 花の人よ押あふ江戸の所 核
 一つの病の不二思やれ 高
 高自らのまも動ぬお朝 高
 高や這かる徳の胡牛 高
 ハナウラ 高
 高守高の核まのえ 高



とこまろも馬あり 一巻
 子くいさなせよ 飯香
 ながおころん 立鏡
 ちんちんたしん 立鏡
 んあてにりん 立鏡
 んあてにりん 立鏡
 耳まめはこり 立鏡
 こころよおのれ 立鏡
 せんせいのえい 立鏡
 久月やゆめ 立鏡
 四方かき梅を 立鏡
 ちんちん尾花 立鏡
 白あけめしめ 立鏡



筑紫管寄
 十里松
 海中を
 旭江を
 孫子もよひか 松音
 あれつらてまのこ 松音
 こゆくもあつめ 松音
 こちかめいしん 松音
 ちんちんにあつめ 松音
 子奴まろし 松音
 んあてにりん 松音
 とのをいさくや 松音
 ちんちんにあつめ 松音
 其杯



つるも

一むくの 既成

月おくれ

みーくれ 吉江

おありのり

子のおま

ちねくとあま 福雪

かぶ小さうな

まーおれ上るも 茂推

あーや おろし

いれをまのた 中里

おれあまか



ウウウ



五ノ八十一

片てはちと

たつらと冬の月

昨非

まろろし 五頁

けしし乃ねの

いふゆえに 終長

あふやや 終長

おつを成大りに 終長

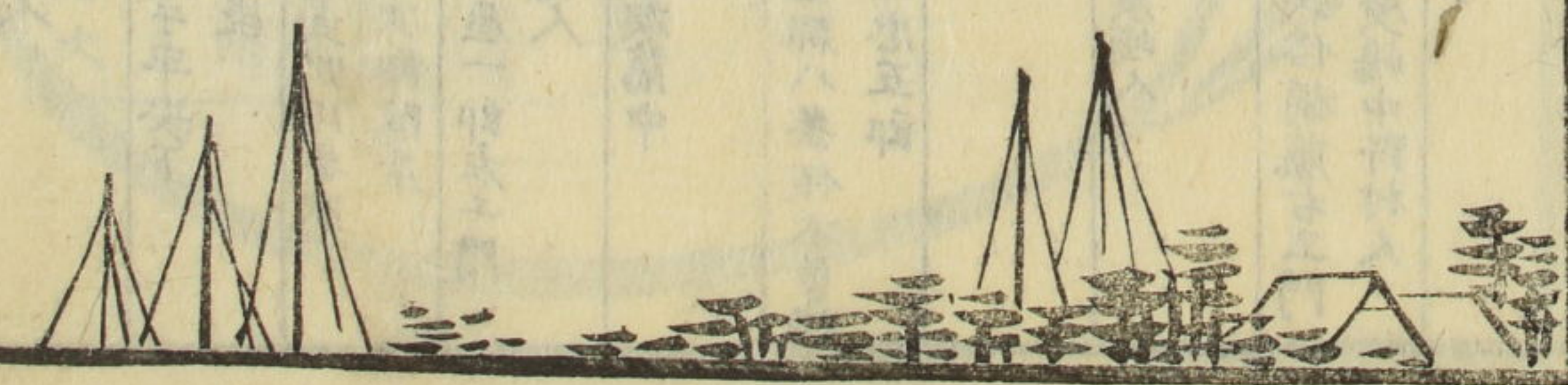
乃ふらふおの

おはすてに 六合

てあゆふとなつて

はらぬのいし 石牙

はらぬのいし 石牙



姓七五三名公濟字延
 美号柿耶丸结社号柿
 壺俗稱作右工門家于
 浪華波屋橋南涯

その花乃
 二生かたもま
 ちりぬら

ちりぬら



五ノ全三終

跋



浪華の清津、舟に於て里を
 こりるよ、梨眼の毫、かきりて
 ちりぬら、風流、くさくさ
 いみ、くさくさ、禮、くさくさ、里

以うりて入るる乃目書
續ふしめし此帖の比
ある梓乃淀孔川長
楫夢龍ほくのあふ
あゝーく心なる聲

五字ノ跋一

呼あつるは長高米
やうきしゆきあ
年ふあ
士申夏 二重菴
樽堂



本朝の御影
 一人の御影
 一人の御影
 一人の御影
 一人の御影

五
後二

画工 浪華雪峰永井三郎

書肆 浪華獻可堂鹿嶋忠兵衛

同 平安橋栄堂勝田善助

同 平安懷玉堂野田治兵衛

文化十癸酉歲春三月 柳壺截版

五ノ尺五寸

